

2009 愛知県スキー連盟 C級検定員検定 理論問題

1. 下記文章は、スキー公認検定員規程からの抜粋である。( )内に適語を入れなさい。

- (1) 検定員は、スキー( )・( )の基幹となる人材であることを認識し、( )なる判定によって、( )及び( )を円滑に運営し、その( )を保持するよう心掛けなければならない。
- (2) B及びC級検定員は、( )の開催する( )に準ずる検定において合格した者をもって公認する。
- (3) 検定員の任期は、公認された年を除き( )年とする。ただし認定された年度の資格は保有する。
- (4) C級検定は、スキーバジジテストのうち、( )において実施することを原則とする。
- (5) 検定の実技における合格基準は、標準点に対して、合・否の適中率が( )%以上であり、基準ポイントに対するポイント差が±( )ポイント以内とした適中率が( )%以上であることをもって合格とする。

2. スキー公認検定員規定第3条に定められている(検定の範囲)について、A・B・C級検定員が、各々検定できる範囲を記しなさい。

(1) A級検定員

(2) B級検定員

(3) C級検定員

3. スキー公認検定員規程に定められている資格の停止および資格の喪失について述べなさい。

(1) 資格の停止

(2) 資格の喪失

4. スキーバジジテストにおける級別テスト(2級)の内容について( )の中に適切な語句を入れなさい。

区分	種 目	斜 面	実技の内容	評価の内容
2級	( ) (整地)	中急～急斜面	条件状況に対応して ・( ) ・( ) ・( )	・ターン運動の構成 ポジション、( ) ・斜面状況への適応度 ( )と回転弧のコントロール ・運動の質的内容 ( )、リズム、タイミング
	( ) (整地)	( )		
	パラレルターン小まわり (整地)	( )		
	( )	総合斜面	を選択して滑る	
2級 申告 認定	・( )は自己申告によって2級の申告認定を受けることができる。 ・希望者は自己の滑降実績などを審査申請し、( )がこれを審査し、認定する。			

5. スキーバジジテスト基準及び実施要領における級別テストの会場の設定について( )の中に最も適する語句を入れ文章を完成させなさい。

実施要項の斜面設定を目安に、コース( )、( )を把握し、( )を活用する等安全に留意し、コースの長さ、( )、( )等の規制については、( )及び検定員の判断に委ねる。

6. 下記の文は、スキーバジジテスト規程における級別テストの検定員および受験資格の条項である。( )内に適語を入れなさい。

< 検定員 >

テストは( )から委嘱された、検定資格を有する検定員( )名以上がこれに当たる。ただし、( )は、( )でなければならない。

< 受験資格 >

- (1) 1級及び2級の受験者は、( )以上とする。ただし、小学生であっても、( )以上を取得している者であれば、受験することができる。
- (2) 3級、4級及び5級の受験者は、( )以上とする。
- (3) 受験者は、希望する級を受験することができる。ただし、1級受験者は、( )でなければならない。
- (4) 1級受験者は、検定会までに( )1単位・( )時間を修了していること。ただし、( )は、当該年度のみ有効とする。

7. ターン運動が合理的におこなわれるためのスキーヤーの身体運動はどのように特徴付けられるか。「テールコントロール」、「トップ&テールコントロール」、「トップコントロール」それぞれについて、各3つあげなさい。

(1) 「テールコントロール」

(2) 「トップ&テールコントロール」

(3) 「トップコントロール」

8. 次の文は、「脱力系メカニズムの身体運動」のターンにおける主導性について述べたものである。( )内に適切な語句を入れて文を完成させなさい。

スキーのターン運動は、( )と運動軸の関係性から、( )より運動軸が傾いた方向へ生起します。これは、ターン内側の( )をゆるめ、運動軸を内傾させる「( )」と呼ばれるものです。

もちろん、ターン運動の継続には、遠心力に対応して「( )」が必然となるでしょう。また、遠心力が加味される場合には、「( )」の想定が必要となります。

ターンにおける内・外の主導性については、( )の優位性が支持されますが、( )の利用価値が否定されるものではありません。

重力活用の脱力系メカニズムは、運動の進行側への( )と傾きが必要条件となります。スキーにおける身体運動では、( )による「荷重」と「( )」が本質的な問題となります。